

平成29年度 第一回VUV・SX高輝度光源利用者懇談会幹事会議事録（案）

日時：平成30年1月8日（月）19：00～21：00

会場：季彩 かがり（茨城県つくば市竹園1-9-2）

出席者：木村昭夫（会長、広島大）、虻川匡司（東北大）、雨宮健太（KEK）、尾嶋正治（東大）、木下豊彦（JASRI）、組頭広志（KEK）、小嗣真人（東京理科大）、近藤寛（慶応大）、藤森淳（東大）

オブザーバー：辛埴（東大物性研）、小森文夫（東大物性研）、和達大樹（東大物性研）

【配布資料】

- ・議事次第
- ・VUV・SX 高輝度光源利用者懇談会会則
- ・播磨分室の現状
- ・SPring-8 共同利用状況 -SPring-8 BL07LSU-
- ・平成30年度前期・BL07LSU 課題審査結果

報告・議事

1. SPring-8共同利用状況、SPring-8東大アウトステーション現状報告
和達大樹 物性研究所軌道放射物性研究施設准教授より、以下の現状報告がなされた。
 - ・共同利用実験 課題採択状況、推移
 - ・各実験ステーションの紹介、SACLA での研究活動の紹介
 - ・アウトステーション報告会開催（平成30年3月13日（火）、東大物性研）
「ISSP-Workshop: SPring-8 BL07LSU の現状と次世代軟 X 線科学創成への戦略」
木下幹事より、報告会開催について JASRI への連絡を必ず行うように、指摘があった。
2. 木村会長より、平成30年度前期・BL07LSU課題審査結果について報告があった。
3. 辛物性研究所軌道放射物性研究施設長より物性研究所E棟の現状、特に11 eVレーザーによる光電子分光装置の報告が行われた。
4. 会則の変更を行い、会長・幹事選挙について電子投票を1回のみ行い、会長の信任投票と、幹事を1回の投票で多い順に決めることが承認された。
5. 全体討論
 - ・次世代の VUV・SX 高輝度光源として、SLiT-J の取り組みや、KEK-PF、UVSOR などの改良の可能性が議論された。
 - ・海外放射光施設として、英国の Diamond Light Source の現状や、英国での XFEL 課題申請のサポートなどが紹介された。

（議事録 事務局）